

(3) 意見の概要

募集テーマ	回答(要約)	居住地	年齢	性別	応募方法
1 少子化対策(子育て支援)について	1 成長に応じて、医師からのアドバイスを受けられる定期健診の補助を増やしてほしい。 保育園での所得制限が厳しく、負担が重い。二人目は全額無償としてほしい。	羽後町	30代	男性	美の国CMS
	2 平成28年4月2日以降に生まれた第3子と、同世帯の第2子が受けられる保育料無償の制度は、大変不公平であり、この制度の改善を求める。 他県には、年齢制限がなく、既に生まれている子供達も対象となっている市町村も多数ある。 「全国トップクラスの支援制度」などとホームページにのせる位なら、年齢制限の撤廃を求める。	秋田市	40代	男性	美の国CMS
	3 一つ目は、子育てにおいて、とても重要な遊ぶ施設が極端に少ない。室内大型遊具施設が全くない。公園も遊具が少ない。 二つ目は、医療費問題。市町村により異なるが、中3まで無料のところから越してきたので、驚いた。高3まで無料のところもある。未来ある子供のため、子育て支援、福祉に力を入れても良いのではないかと？	秋田市	30代	女性	ファックス
	4 女性の卵子老化について、早い段階から教育現場で教えていくべきだと考える。 不摂生な生活や食生活により、精子に悪影響があることも教えるべきであり、保健体育で性教育をしっかり行うことが大切である。 今ある危機に対策を行うことも大切だが、未来を担う秋田の子ども達への教育が必要と考える。 東京都渋谷区で実施されている、若いうちの卵子凍結保存について補助を行ってほしい。 働く女性にとって晩婚化は否めないが、不妊で悩むことが減少すると思う。 現在、体外受精について秋田県では補助金が支給されているが、若いうちに採取した卵子であれば成功率が高く、夫婦にとって不妊治療費にかかる負担軽減にもつながる。	秋田市	40代	女性	メール
	5 最大の課題、条件整備は若者が定住し結婚、子育て出来る雇用の場、条件整備を一層強力に推進することである。具体策としては、県当局、県議会、各種企業、団体、組織等による検討チームを早急に立ち上げる。若者が結婚し、おおむね10年程度は安心して子育て出来る、条件整備計画を示すべきである。 全県25市町村、各組織団体等による具体的目標を設定する。特に、県民総参加での最重要課題であることから、各企業、団体組織、個人等からの出資、募金等による資金調達の実策等を含め検討すべきである。	大仙市	80代	男性	郵送
	6 高校生の授業料の所得基準に、住宅ローンが考慮されることと同様に保育料のすこやか支援の基準にも考慮をしていただきたい。保育料のすこやか事業には、住宅ローン負担が考慮されないため、その負担が重いものとなっている。 幼児健診について、3歳以降は6歳まで補助がない。4歳、5歳など、よりきめ細やかな助成をお願いしたい。	羽後町	30代	男性	美の国CMS
	7 秋田市の中心市街地に小さい子どもを連れて遊びに行ける(行きたいと思う)場所が全然ない。エイジフレンドリーシティよりもまずは若者が集まる場所作りを求める。 「エリアなかいち」にはガッカリ。	秋田市	40代	男性	美の国CMS
	8 安心して産める、ここで育てたいと思われる県になる為に ・待機児童を無くすための保育施設内などの増設の要否の確認 ・保育士の確保へ向けた賃金の値上げ、短時間勤務の保育士の採用など労働条件などの見直しの制度の作成を早急に行って頂きたい。 また、日曜日や祝日、年末年始、早朝、夜遅くまで預ける事の出来る保育施設の各市町村への設置もお願いしたい。 病児病後児保育の出来る施設についても各市町村に最低一カ所は作って頂きたい。 多様就業対応型のワークシェアリング(正社員の勤務時間や勤務形態を多様化し、女性や高齢者など、様々な就業条件に対応した雇用機会を作る。)が秋田にある仕事全体に広がるような制度を作ることが出来ると子供を産み育てやすい環境になると思う。	仙北市	30代	女性	メール

募集テーマ	回答(要約)	居住地	年齢	性別	応募方法
2 秋田らしい産業振興政策と雇用創出について	1 <p>産業振興政策と雇用創出、少子化対策、子育て支援は不離一体的であると理解しており、本県農業、基幹稲作等との組合せによる生産、加工、流通等の具体策を推進すべきである。</p> <p>基幹稲作と転作物との調整をするために、全県的な「とも補償」制度を本格的に検討促進する。特に、中山間未整備地域、積雪地域での規模拡大、集約化等が難しい地域等との「とも補償」制度を進め、良質安全な食糧生産の確立が急務である。</p> <p>特に、JA等の農業関係団体、組織等との連携等により「生産、加工、流通、販売県」を目標に推進し、雇用創出等確実に促進され、所得向上される「地方創生特区」の推進が期待出来る。</p>	大仙市	80代	男性	郵送
	2 <p>○はじめに 1「企業誘致政策」からの脱却： 戦後から現在に至るまで本県の産業政策は、出稼ぎ政策・企業誘致政策・大企業の下請け政策等県外依存と、時代が変遷しても一貫して「他力本願」の要素が極めて高い政策が長い間維持され続けて来ている。それが大きな要因となり新たな産業創出の芽を削ぎ、本県経済の相対的低下の最大要因になったと考える。その原因は、県の産業政策推進に際し、その政策において政策遂行の手段と目的を取り違え、本来企業誘致政策等は地域に新しい産業が萌芽するまでの政策手段に過ぎないことを理解せず、企業誘致政策等が県産業の発展に即効性を有することから、いつに間にかそれが目的化したことに因るものと思われる。その結果、川上産業、所謂コンポーネント産業(組み立て型産業)の頂点に立つ企業が育成されず、川下産業(下請け部品産業)が企業の大勢を占めるようになった。</p> <p>2「知財戦略(特に特許戦略)」の見直し： 当県の産業政策において、最も遅れているのが特許戦略を中心とした知財戦略であることが「我が国と秋田県の特許登録の現状」の分析から分かった。 特許戦略の遅れは、とりもなおさず地域における新しい産業の創出を阻害し、そのことに因り高付加価値商品の開発が停滞し、低賃金が常態化し、知的好奇心を刺激する若年層に魅力のある企業が育成されないことにより、県外に勉学のため進学した若年者が帰県出来ず、それが県人口の社会減の大きな要因になると共に、新生児の減少につながり人口動態における自然減の遠因となり、県勢衰退の悪循環に陥っている。</p> <p>○産業の振興と雇用創出について県に求める事 特許登録と地域問題の現状分析から分かったことは、秋田県において過去25年間実質的な知財戦略、特に特許戦略は存在しなかったと云うことであり、改めて特許戦略の重要性を認識した。 1. 在野の研究者が、自由に研究できる場を提供： 特許戦略にとって最も必要なことは、二つのソーゾー(創造・想像)力を大事にすることである。研究の成果は運動性であり、息の長い取り組みが必要である。 以上のことを念頭に、在野の研究者が何の制約もなく、何の不安もなく自由に研究する場を提供することが、将来地に足のついた産業振興に繋がるものと確信しており、また他県等に先駆けて秋田型の特許戦略が構築されるのではないだろうか。</p> <p>2. 産・学・官の枠組みに在野の研究者(個)も参加できる枠組みの構築： 従来の産・学・官の枠組みに個も組み入れた、産・学・官・個となることを望む。 従来の産学官の枠組みについて、特許戦略上既に限界に達していることを前項3で述べたが、この状況を打破する意味においても、また研究の幅を広くする意味においても従来の枠組みに囚われることなく、新たな枠組みを構築する必要があり、在野の研究者も参加できる環境を整えることが急務ではないかと考える。</p> <p>3. 発明の目利きを育成する： 特許戦略上、提供された発明を特許としてどう評価するのかを判断する人材の育成が重要である。 最後に、世の中を変えるのは、よそ者・若者・バカ者、と云われている。在野の研究者は、発明バカ、発明病、変人、変わり者等々決して響きの良くない様々な言葉で表現されている。しかし、世の中を変えるため、よそ者・若者については多くの分野で活躍できる環境が整いつつあるが、バカ者の範疇にはいる在野の研究者についても、活躍できる場が欲しい。このような環境ができることによって、秋田の地に合った独自の産業が創出されるものと確信する。</p>	秋田市	60代	男性	メール
3 新たな文化施設について	1 <p>今回の建設計画は、大きな建物を莫大な予算を使って建て、その後の維持費も相当な額に達し、しかもその大きな建物に対する駐車場も手当するのが困難な現状であるとか、二つあったものを合併して一つにする自体は、県や市の財政事情を考慮するまでもなく無駄の解消として時宜を得た計画だと思ったが、その建物の規模を聞いてびっくりした。一度に二千人が利用できる規模とのことで、そのようなイベントが果たして何年に一回開かれるものか。開催の度に全席を埋めることなど夢のまた夢でしか有り得ない。採算を度外視した計画に、二つ返事で賛成するわけにはいかない。</p>	秋田市	80代	男性	ファックス
	2 <p>新文化施設については、全県的な施設であると理解すれば、百年の大計の基に、施設の規模、多様性、駐車場の確保等が欠くことのできない要件であると思う。 特に車社会での多面的な利活用者、特に障害等の方々を考慮された場合、さらに駐車場の利便性が全県的に年間を通じての施設利用が確実に左右されると思われてならない。</p>	大仙市	80代	男性	郵送

募集テーマ	回答(要約)	居住地	年齢	性別	応募方法
3 新たな文化施設について	<p>県内に一つあれば良い、大規模集客施設は、秋田市内の高速道路出入り口付近の山林を先行取得し、無料の大規模駐車場設置を前提に、計画的に移転させていく案を提言し、県と秋田市の共同事業の新秋田文化施設がその1号になればと願ってきた。これは、単に文化施設一つの問題でなく、人口減少時代に突入している秋田県と秋田市の今後10年～30年のまちづくり計画と密接な関係がある。</p> <p>新聞報道によると、文化施設計画への意見を聞く会で注文続出とあり、駐車場不足、利用者の利便性への配慮不足、まだ使える使い勝手の良い秋田市文化会館解体への疑問、新施設の使いやすさ・広さへの疑問などの反対意見や、計画変更を望む意見が続出しているとのこと、このような場合「もっと時間をかけて検討します。」と言うのが普通なのに、なぜ、そんなに急ぎ強行するのか？その理由は？と疑問を持っている人が多くいる。「なかいち」は、いまだに苦戦が続き、社長が短期間に何人も交替していると報じられている。利用者の負担額や所要時間が多くかかるなど、利用者を犠牲にしてまで、その場所に集中させるやり方を強行するとすれば「なかいち」を救済するための追加投資とみられてもやむを得ない。</p> <p>自らの失敗を隠すため、無理やり急いで決定しようとしていると疑われないためにも、計画を白紙にして時間をかけて検討すべきである。</p> <p>今回の共同事業の進め方の基本スタンスは、間違っている。対象者である大多数の県民が、極めて軽んじられている。</p> <p>この案の決定権を有する、県議会議員の皆様方の賢明なる判断に期待している。</p>	大湯村	70代	男性	郵送
4	<p>県民の移動手段が自家用車に依存し過ぎている。公共交通網の整備を図るとともに、町としての機能が持続可能なコンパクトシティを目指すべき。文化施設の立地場所は駅周辺しかないと考える。</p>	秋田市	60代	男性	美の国CMS
5	<p>○総論・空白期間の問題: 同じ場所に建て替えることにより、3年から4年の空白の期間が生じ、「文化的活動力の低下」及び「定期的に予選として開催される諸行事の質的低下」などが懸念される。一口に3年間と言っても、子供達にとっては、中学・高等学校のすべてであり、ポテンシャルを損ないかねない。制約の多すぎる環境の中で実施せざるを得ないことが想定される。3年間の空白を経て建て替えることが正しい選択なのか、甚だ疑問である。停止・空白期間を作らないよう、今一度再考できないものか。</p> <p>県民会館跡地利用としたのには、中央街区を形骸化させたくないからと思うが、これらは共存するものではなく役割が異なる。具体的には、県民会館のコンサートが終わった時に「なかいち」は既に閉っており、経済効果やにぎわいが発生するようにはなっていない。目先の事情にとらわれて、今後50年有効に使うべき施設が「使いにくいハコ」と化してしまわないよう、秋田県の文化活動・商業活動・知的財産・県民の文化資質全体を俯瞰した横断的な議論が必要である。</p> <p>○建設場所: 他県他都市が誇る文化の拠点は、広い駐車場を備えた敷地に高速道路からのアクセスも良い立地で作られている。観客用の駐車場を最低限のものとするにしても、県より示されたイメージ図では、トラック複数台の転換が明らかに困難であり、出演者や道具・楽器類の入れ替えが不可能なホールなどあり得ない。</p> <p>地震発生時には、耐震性のある立派な建物であり、それ自体が避難所となるが、火災発生時は避難するスペースが全くない。仮に二つのホールで同時にイベントが開催され満席の場合、スタッフも含めた合計三千人をどこに避難させるというのか。</p> <p>周辺の道路は、現状のままというならば「使いにくい」「危ない」周辺環境であることは明らかである。「使いにくい」を超えて「使えない」ということになるかも知れない。このまま、現在地での立替を強行されるのか？</p> <p>適地として個人的に考えるには、(A)秋田中央インター付近、(B)秋田北インター付近、(C)秋田南インター付近のいずれも農地一帯が好立地と思われる。</p> <p>スポーツと文化を分けて考える時代は、はるか昔に終わった。</p> <p>新しい音楽ホールの隣が最新鋭の体育館、ということでスポーツも文化のパロメーターとして機能させることができる。いずれ老朽化して建て替えを検討すべき「秋田県立体育館」もこの際セットで考えることはできないものか？</p> <p>これから50年は県民に愛される施設として使われていくものだから、「中央街区活性化」という概念だけでなく、利用者・主催者の声をもっと拾って、再度検討されることを切に願う。</p>	秋田市	不明	男性	メール

募集テーマ	回答(要約)	居住地	年齢	性別	応募方法
3 新たな文化施設について	<p>新施設の建設候補地を県民会館の所在地とし、概略図面は県民意見交換会(8月)で参加者へ配付された。その結果、関係者からは</p> <p>①「建設予定地がこれほど狭いとは知らなかった。」 ②「県民会館跡地に建設することに賛成していたが、これでは賛成できない。」 ③「県民会館だけを建て直すギリギリの敷地面積だ。市文化会館と切り離して考えるべきだ。」・・・</p> <p>①～③に共通する疑問は、この場所に建てなくてはならないのか、車社会の秋田において駐車場が隣接していないのはおかしい、文化会館や県民会館ジョイナスが担っていた練習場としての機能は確保できるのか、県が単独で県民会館を建て直すべきでは、図面ナシで実施したパブリックコメントは無効だ、等々である。</p> <p><望ましい文化施設像> 新施設が50年以上に渡り秋田県民の誇りであり続けるためには、 ①吹奏楽、管弦楽、合唱等、いわゆるナマの音が綺麗に客席に伝わる設計 ②舞台間口の高さ(※プロセニウム高)は15m以上必要 ③若者向けのコンサートや各種全国大会ができるように、大型バスや11tonウイングルーフトラックが複数台、横付け・転回できる広い駐車場が必要 ④小規模発表会、県民交流、文化団体の練習ができる部屋が十分に併設されている ⑤車社会の秋田においては隣接する有料立体駐車場 ⑥TV中継車や電源車を駐められるように敷地に余裕 ⑦行事により交通渋滞の元凶とならないこと、等々が挙げられる。</p> <p><県に求められる取組等> 1 市と共同で事業をするデメリットも御検討願う 2つのホールを有する施設を建設・活用していくために、県民会館の所在地は狭すぎる。場所にこだわるのであれば、県民会館の建て替えに的を絞るべきではないか。また、8月11日開催の県民意見交換会では「35年しか経っていない文化会館を補修して使っていくべきであり、県民会館は県が単独で建て直すべきである。」という意見もあった。</p> <p>県と市と共同することで、国の補助金を活用できるメリットは理解できるが、狭い敷地で使い勝手が悪いこと、まだ使える文化会館を解体するのは何とも勿体ないこと・・・等々共同で実施することのデメリットも散見される。後悔することがないように共同のデメリットを県議会でも御検討を願う。</p> <p>2 建設予定地として県民会館所在地は適切か御検討願う 建設予定地の平面図が公開されたことにより、予定地が狭いことが誰の目にも明らかとなった。</p> <p>これまで県民会館所在地が適切と感じていた多くの県民が、異論を唱え始めている。また、音の良いホールを具現化するために、建築高が道路面より35mほどの高さになり、千秋公園の景観を守ろうとする人の賛同を得るのは難しくなっている。このためか整備方針に、高さに関する記述がない。</p> <p>中心市街地活性化に資するため、ここに建設したい気持ちは理解できるが、誰の目にも敷地面積が不足しているのは致命的である。さらに、交通渋滞や駐車場難の心配を一手でできないようであれば、もくろみは本末転倒であり、県民会館所在地が適切であるか議会でも御検討を願う。隣接する立体駐車場については、来場者以外の駐車を考慮し、有料が望ましいと思う。</p> <p>3 近隣の同程度の施設・ホールを視察願う 秋田県民の誇りであり続ける施設は、交通アクセスなども含め、近隣の市が建設した施設以下であっては恥ずかしい。 少なくとも、下記2施設を視察するようお願いする。(盛岡市民文化ホール・いわき芸術文化交流館)</p> <p>4 ソフト面の検討を施設建設に先駆けてお願いする 新施設のハコをハード(・・・)、運営・活用方法などをソフト(・・・)とすると、新文化施設はハードが先行してソフトの検討が不十分にも見受けられる。「ハードが良くてソフトが悪いとタダのハコ」、「ソフトの検討は、時間はかかるが金はあまりかからない」等のご承知の通りです。 これまでの検討に、ジョイナスを含む県民会館と文化会館を頻繁に利用してきた音楽団体等は、参加を求められていない。 ソフト面の検討を早期に開始するように、議会から行政へ働きかけるようお願いする。</p>	秋田市	60代	男性	メール

募集テーマ	回答(要約)	居住地	年齢	性別	応募方法
3 新たな文化施設について	<p>新文化施設内の2つのホールは、プロセニウム型・多目的ホールとなっている。客席からステージを見て境目がまるで額縁のように見える形式をプロセニウム形式と呼び、県民会館も市文化会館大・小ホールもこの形式の多目的ホールである。</p> <p>既存の多目的ホールは、合唱、管弦楽、吹奏楽等、いわゆる「生音」にとっては不都合であるが、プロセニウム(いわゆる額縁)高さを確保すれば「生音」が良くなることも分かっている。現に、最近作られているホールのプロセニウム高は、由利本荘市文化交流館カダーレ12.96m、酒田希望ホール12.6m、いわき芸術文化交流館アリオス15m、など、いわゆるプロセニウム高を確保し、結果として音響的にも優れた設計となっている。</p> <p>なお、生音が良くないと言われる県民会館のプロセニウム高は僅かに8mであり、由利本荘市文化交流館カダーレの約13mより大きく劣る。</p> <p>千秋公園の景観を守るため、施設の建築高さを25m以内とする動きがあるようだが、由利本荘市以下の施設を作ろうとしていないか。</p> <p>基本設計において大ホールのプロセニウム高を15m以上と決定し、これにより建物の高さを決定するよう、秋田県当局に強く要請する。</p> <p>現県民会館は、プロセニウム高が極端に低く、音が悪い。</p>	秋田市	60代	男性	メール
	<p>①これまでの県民会館利用者は4年間を辛抱するしかない。</p> <p>②4年間に鑑賞の機会を奪われる県民の文化的損失は相当なものとなる。</p> <p>以上の2つの文化的損失に加え、千秋公園に建築高35m以上の建物は建てられるのかという問題が顕在している。</p> <p>立地を他に求めるべき流れとなって当然ではないか。</p> <p>手戻りとならぬうちに、行政と県民が知恵を出し合うべきと思う。</p> <p>この3月発行の「整備方針」が、4年間の辛抱を必要とする学校吹奏楽や鑑賞機会を失う県民に対し、理解も協力も求めていることは如何なものか。</p> <p>全体を丁寧に分析し、かつ県民の方を向いた「整備方針」するべきである。</p>	秋田市	60代	男性	メール
4 子どもの貧困対策について	<p>【テーマ1と4】の両方に関連する意見</p> <p>①「里親制度」の正しい理解と利用促進を図ってほしい</p> <p>親の病気による入院など、一時的な養育困難もカバーする制度であることはあまり知られていない。実際の守備範囲とイメージがかけ離れ、本来同制度により保護されるべき子どもが見過ごされていると感じる。</p> <p>特に、単親家庭においては、親の入院により子どもの養育が難しくなるようなときに、活用される必要があると思う。</p> <p>秋田県は、里親委託率が大変低く(平成27年3月末現在、全国最低位の6.07%)、里親制度への県民の理解が特に不十分なのではないかと思う。</p> <p>親の入院に伴って子どもの養育問題が浮上するとき、児童相談所に里親利用の相談ができることを、知らなかった。</p> <p>里親制度は、数か月単位の短期間でも利用できることや、親族にも委託できること、親の入院にも対応する制度であることなどを啓発してほしい。</p> <p>ポスター等を作成するなど、医療機関・医療従事者への啓発を特に重点的に行ってほしい。</p> <p>経済基盤の脆弱な単親家庭の親は、入院に際して、自身の治療費と子どもの養育費の両方を自己負担することとなり、ますます貧困が深刻化する。</p> <p>このような状況の回避に貢献する点においても、里親制度の正確な守備範囲を周知する活動は、子どもの貧困問題に対するセーフティーネットの役割も期待できると思う。</p> <p>②「ダブルケア」を抱える家庭への支援を検討してほしい</p> <p>高齢化率の高い秋田県では、ダブルケア(介護と育児の同時進行)を抱える家庭も多いのではないかと考える。</p> <p>ダブルケアの実態調査や、支援方法の開発など、政策として行ってほしい。</p>	秋田市	30代	男性	メール
	<p>子どもの貧困対策については、県で行っているアンケート調査による実態把握と共に、それ以前の発生原因は何かを把握されることが急務であると思われる。</p> <p>発生原因を大別し、その対策を根本的に検討しなければ課題解決の原因究明とはならないと思う。</p> <p>(1)両親の離婚等の理由が原因となっていないか。</p> <p>(2)全般的に何らかの教育的欠如となっている面がないか。</p> <p>(3)特に本県の場合、自己責任、依存性等今一度本格的論議の場を設けて貧困対策の課題抽出、検討、原因等本質の究明に努めてほしい。</p>	大仙市	80代	男性	郵送
	<p><妊娠期からの虐待予防への取り組み></p> <p>乳児の虐待死を防ぐため、厚生労働省は来年度、貧困や未婚などで悩む望まない妊娠をした人の相談に乗るなどの支援をすることで虐待予防につなげる、産科医療機関へ児童福祉司を配置するモデル事業を行うことを、新聞で見た。</p> <p>今後実施する自治体を募集するとあった。</p> <p>秋田県も応募を検討する、もしくは県独自に事業を行う、などしては如何か。</p> <p>妊娠期からの虐待予防への取り組みについて、一層の支援、強化をお願いしたい。</p>	秋田市	30代	男性	メール